平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年７月31日

上場会社名　　八千代工業株式会社　　上場取引所　　東
コード番号　　7298　　ＵＲＬ　http://www.yachiyo-ind.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）辻井　元
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　　（氏名）川瀬　和昭　　ＴＥＬ　04-2955-1211

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月９日
配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	60,790	△8.6	1,742	△22.3	1,919	△10.7	613	△54.8
25年３月期第１四半期	66,478	28.5	2,242	441.6	2,148	247.6	1,356	－

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　4,930百万円（36.3%）　25年３月期第１四半期　3,617百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	25.55	－
25年３月期第１四半期	56.50	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	129,891	45,791	29.8
25年３月期	121,215	40,068	27.8

（参考）自己資本　26年３月期第１四半期　38,692百万円　25年３月期　33,738百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	10.00	－	10.00	20.00
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		11.00	－	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	120,000	△6.3	2,900	△22.0	2,800	△20.5	500	△74.1	20.82
通期	245,000	2.5	7,800	43.9	7,300	30.4	2,000	12.4	83.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
　　新規　ー社　（社名）ー、除外　ー社　（社名）ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有
　（注）詳細は、【添付資料】３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	有
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（注）詳細は、【添付資料】３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	24,042,700株	25年３月期	24,042,700株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	29,138株	25年３月期	29,138株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	24,013,562株	25年３月期１Ｑ	24,013,562株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

　この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは実施中であります。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

　業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

　なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

【添付資料】

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表等 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間の経済状況は、国内においては、輸出環境の改善や経済対策及び金融政策の効果に対する期待感などから個人消費は持ち直し、設備投資はおおむね下げ止まっているなど、景気は着実に持ち直しております。一方、海外においては、米国の景気は、雇用環境の改善に伴う個人消費の増加を中心として緩やかな回復が続いております。アジア諸国の景気は、中国では、輸出の伸びが鈍化しつつあるなど拡大のテンポが緩やかなものとなっており、インドでは緩やかに減速しております。その他のアジア諸国においては、内需を中心とした持ち直しの動きが緩やかになってきております。欧州主要国の景気は、財政緊縮や高い失業率などの影響により一部に下げ止まりの兆しもみられておりますが、総じて弱い動きとなっております。

このような情勢のもと、当社グループは、主要事業のＳ（営業）Ｅ（生産）Ｄ（製品開発）Ｂ（購買）機能の強化、海外拠点の体質強化及び販路の拡大、新規事業推進体制の充実、業務プロセスの改革と人材育成のさらなる強化に取り組んでまいりました。研究開発面では、製品の競争力を向上させるための新たな機構や新材料などを活用した製品開発の強化に加え、「先進技術と革新商品の継続的創造」を目的に、Ｓ、Ｅ、Ｄ、Ｂが一体となって部品事業の拡大に向けた主要製品の次世代技術の研究や、新規事業の参入に向けた製品開発のための体制の構築に取り組んでまいりました。生産面では、国内外の生産体質改革をさらに推進するとともに、市場拡大が見込まれるメキシコとインドネシアでの新拠点操業に向けた準備に取り組んでまいりました。また、国内外主要顧客の需要に応じた生産の最適化を図ってまいりました。

当第１四半期連結累計期間の売上高は、為替換算上の影響はあったものの、自動車部品及び自動車組立における受注の減少などにより、607億９千万円と、前年同期に比べ56億８千７百万円、8.6%の減収となりました。利益につきましては、原価改善効果や為替換算上の影響などはあったものの、減収に伴う利益の減少や研究開発費の増加などにより、経常利益は、19億１千９百万円と前年同期に比べ２億２千８百万円、10.7%の減益となりました。四半期純利益は、６億１千３百万円と固定資産売却益を計上した前年同期に比べ７億４千３百万円、54.8%の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

日本においては、自動車部品及び自動車組立における受注の減少などにより、売上高は、268億２千２百万円と前年同期に比べ107億４千４百万円、28.6%の減収となりました。経常利益は、原価改善効果などはあったものの、減収に伴う利益の減少や研究開発費の増加などにより、７千１百万円と前年同期に比べ２億６千３百万円、78.8%の減益となりました。

（米州）

米州においては、連結子会社であるヤチヨ　マニュファクチュアリング　オブ　アラバマ　エル　エル　シー（米国）、ユー　エス　ヤチヨ　インコーポレーテッド（米国）における受注の増加や、為替換算上の影響により、売上高は157億７千３百万円と前年同期に比べ35億６千５百万円、29.2%の増収となりました。経常利益は、増収に伴う利益の増加はあったものの、平成25年９月に操業開始予定のヤチヨ　メキシコ　マニュファクチュアリング　エス　エー　デ　シー　ブイ（メキシコ）の操業準備費用などにより、２億４千５百万円と前年同期に比べ１億５百万円、30.0%の減益となりました。

なお、カナダ及び米国の連結子会社については、【添付資料】３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（４）追加情報」に記載のとおり、当第１四半期連結会計期間より決算日を12月31日から３月31日に変更しており、前第１四半期連結累計期間は平成24年１月１日から平成24年３月31日、当第１四半期連結累計期間は平成25年４月１日から平成25年６月30日であります。

（中国）

中国においては、為替換算上の影響はあったものの、連結子会社である八千代工業（中山）有限公司（中国）における受注の減少などにより、売上高は、41億６千８百万円と前年同期に比べ３億７千万円、8.2%の減収となり、経常利益は、５億４千４百万円と前年同期に比べ７千３百万円、11.9%の減益となりました。

（アジア）

アジアにおいては、連結子会社であるサイアム　ゴウシ　マニュファクチュアリング　カンパニー　リミテッド（タイ）における受注の減少などはあったものの、為替換算上の影響により、売上高は、140億２千５百万円と前年同期に比べ18億６千１百万円、15.3%の増収となりました。経常利益は、平成25年８月に操業開始予定のピーティー　ヤチヨ　トリミトラ　インドネシア（インドネシア）の操業準備費用などはあったものの、為替換算上の影響などにより、10億９千万円と前年同期に比べ８千６百万円、8.7%の増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間の資産合計は、1,298億９千１百万円と前年度に比べ86億７千６百万円の増加となりました。

増加した要因は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加、また、為替換算レート差による円換算額が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、840億９千９百万円と前年度に比べ29億５千２百万円の増加となりました。

増加した要因は、短期借入金や賞与引当金の減少などがあったものの、長期借入金や為替換算レート差による円換算額が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、457億９千１百万円と前年度に比べ57億２千３百万円の増加となりました。

増加した要因は、為替換算調整勘定や利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の業績予想につきましては、平成25年４月26日の決算発表時に公表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（たな卸資産の評価方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、たな卸資産の評価の方法について、従来、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により評価し、在外連結子会社は、主として先入先出法又は総平均法による低価法により評価しておりましたが、当第１四半期連結会計期間より当社及び一部の国内連結子会社は、先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）、一部の在外連結子会社は、先入先出法による低価法に変更しております。

この変更は、近年の原材料価格が短期間で変動している現状を勘案し、適正な棚卸資産の評価、期間損益計算を行うため、たな卸資産の評価方法の見直しを行ったものであります。

この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（４）追加情報

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、決算日が12月31日である連結子会社は、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っておりますが、このうちヤチヨ　オブ　オンタリオ　マニュファクチュアリング　インコーポレーテッド（カナダ）、ヤチヨ　オブ　アメリカ　インコーポレーテッド（米国）、ユー　エス　ヤチヨ　インコーポレーテッド（米国）、ヤチヨ　マニュファクチュアリング　オブ　アラバマ　エル　エル　シー（米国）、エー　ワイ　マニュファクチュアリング　リミテッド（米国）及びヤチヨ　インダストリー（ユーケー）リミテッド（英国）については、決算日を12月31日から３月31日に変更しております。これに伴い、当第１四半期連結会計期間においては、これら連結子会社の平成25年４月１日から平成25年６月30日までの３ヶ月間の財務諸表を連結しております。なお、平成25年１月１日から平成25年３月31日までの３ヶ月間の損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

３．四半期連結財務諸表等
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,728	11,602
受取手形及び売掛金	24,080	26,245
商品及び製品	1,380	1,486
仕掛品	2,314	1,441
原材料及び貯蔵品	4,739	5,419
その他	3,610	5,307
流動資産合計	45,853	51,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,187	49,812
機械装置及び運搬具	91,354	96,710
工具、器具及び備品	44,330	45,983
土地	19,562	19,794
建設仮勘定	4,790	4,168
減価償却累計額	△135,418	△141,920
有形固定資産合計	71,806	74,549
無形固定資産		
のれん	286	215
その他	581	725
無形固定資産合計	867	940
投資その他の資産	2,687	2,898
固定資産合計	75,361	78,388
資産合計	121,215	129,891

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,504	24,966
短期借入金	15,971	14,889
1年内返済予定の長期借入金	8,398	8,140
賞与引当金	1,863	926
その他	10,665	7,900
流動負債合計	60,403	56,824
固定負債		
長期借入金	12,496	16,572
退職給付引当金	6,826	7,134
役員退職慰労引当金	117	123
その他	1,303	3,444
固定負債合計	20,743	27,275
負債合計	81,147	84,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,685	3,685
資本剰余金	3,504	3,504
利益剰余金	31,103	32,509
自己株式	△24	△24
株主資本合計	38,268	39,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193	253
為替換算調整勘定	△4,722	△1,235
その他の包括利益累計額合計	△4,529	△982
少数株主持分	6,329	7,099
純資産合計	40,068	45,791
負債純資産合計	121,215	129,891

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	66,478	60,790
売上原価	60,498	54,855
売上総利益	5,979	5,935
販売費及び一般管理費	3,737	4,192
営業利益	2,242	1,742
営業外収益		
受取利息	34	60
固定資産賃貸料	21	21
為替差益	－	166
その他	54	46
営業外収益合計	111	295
営業外費用		
支払利息	102	109
為替差損	74	－
その他	28	9
営業外費用合計	205	118
経常利益	2,148	1,919
特別利益		
固定資産売却益	549	41
特別利益合計	549	41
特別損失		
固定資産売却損	3	3
固定資産除却損	52	31
特別退職金	－	12
特別損失合計	55	47
税金等調整前四半期純利益	2,641	1,913
法人税等	899	848
少数株主損益調整前四半期純利益	1,742	1,064
少数株主利益	385	451
四半期純利益	1,356	613

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,742	1,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	60
為替換算調整勘定	1,912	3,805
その他の包括利益合計	1,875	3,865
四半期包括利益	3,617	4,930
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,045	4,160
少数株主に係る四半期包括利益	572	769

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	37,566	12,208	4,539	12,163	―	66,478	―	66,478
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,832	9	212	65	―	2,121	(2,121)	―
計	39,399	12,218	4,752	12,229	―	68,599	(2,121)	66,478
セグメント利益	334	350	618	1,003	3	2,310	(162)	2,148

（注）１　セグメント利益の調整額△162百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	26,822	15,773	4,168	14,025	―	60,790	―	60,790
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,059	0	81	19	―	2,161	(2,161)	―
計	28,881	15,774	4,250	14,045	―	62,951	(2,161)	60,790
セグメント利益	71	245	544	1,090	4	1,955	(36)	1,919

（注）１　セグメント利益の調整額△36百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２　報告セグメントの変更等に関する事項

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

カナダ及び米国（米州）、英国（その他の地域）の連結子会社については、当第１四半期連結会計期間より決算日を12月31日から３月31日に変更しており、前第１四半期連結累計期間は平成24年１月１日から平成24年３月31日、当第１四半期連結累計期間は平成25年４月１日から平成25年６月30日であります。